

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年09月15日

計画の名称	社会資本総合整備計画（第二期地域住宅計画（秋田県大館地域））												
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	大館市												
計画の目標	<p>・公営住宅等整備事業では、大館市公営住宅等長寿命化計画のストック活用計画に基づき、「地域特性に応じた、大館の住まいづくり」を基本目標に、花岡地区3団地の統合建替えを推進すると共に、地域における人口の定住化を図り、「安全で安心できる住まいづくりの推進」を実現します。</p> <p>・大町中心街区は、店舗の閉鎖が相次いでおり、集客力の低下に伴い空洞化が進んでいます。空き家再生等推進事業（除却事業）の対象施設は、空き店舗に付帯した立体駐車施設で、現在、市有施設となっています。老朽化が著しく外壁の剥落等により事故に繋がる恐れがあり、速やかな安全対策が望まれ、また、この施設は改修して再利用が見込めるものではないため、解体して跡地を広場として活用し、地区の活性化を図ります。</p> <p>・安全で良好な市街地の形成、住環境の整備を図るため、幅員4メートル未満の狭い道路解消を促進する。狭い道路の拡幅整備により住宅市街地の防災対策、緊急車両等の通行確保が図られ、安全で安心できる住環境を実現します。</p>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	665	A	662	B	0	C	3	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0.45	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (R2末)
1	市営住宅における昭和40年以前の老朽化住宅の割合を20.8%（H28）から5.6%（R2）とする。 昭和40年以前に建設され、50年を経過し老朽化した市営住宅の割合（%） A = (昭和40年以前に建設し現存する市営住宅管理戸数の割合) / (総管理戸数)	21%	15%	6%
2	市営住宅のバリアフリー化率を17.4%（H28）から30.4%（R2）とする。 市営住宅のバリアフリー化率 A = (バリアフリー化戸数) / (管理戸数)	17%	22%	30%
3	跡地を広場として活用し、利用者(来訪者)数を1,000人/年（H30末）とする。 広場の利用者(来訪者)数を調査により把握する。	0人/年	1000人/年	1000人/年
4	狭い道路整備区域内において、消防や救急等緊急車両が無理なく対面通行でき直接到着可能な世帯数を、67世帯（H28当初）から95世帯（H30末）に増加。 狭い道路整備区域内において、消防や救急等緊急車両が無理なく対面通行でき直接到着可能な世帯数を調査により把握する。	67世帯	95世帯	95世帯

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	大館市	直接	大館市	-	-	公営住宅等整備事業	大森野住宅建替え事業(現地建替え14戸)	大館市						253	0.79	策定済
	A15-002	住宅	一般	大館市	直接	大館市	-	-	公営住宅等ストック総合改善事業(長寿命化型)	外壁・屋上防水他改修(第2獅子ヶ森(5棟、54戸)水門前(2棟、41戸))	大館市						134		策定済
	A15-003	住宅	一般	大館市	直接	大館市	-	-	空き家再生等推進事業	空き建築物除却事業(1棟)	大館市						81		-
	A15-004	住宅	一般	大館市	直接	大館市	-	-	公営住宅等ストック総合改善事業(計画策定)	公営住宅長寿命化計画策定事業(見直し)	大館市						1		-
	A15-005	住宅	一般	大館市	間接	個人	-	-	空き家再生等推進事業	危険空き家等解体撤去費補助	大館市						14		-
	A15-006	住宅	一般	大館市	直接	大館市	-	-	公的賃貸住宅家賃低廉化事業	向町・新町・中町(3団地67戸)、大森野(16戸)	大館市						155		策定済
	A15-007	住宅	一般	大館市	直接	大館市	-	-	空き家再生等推進事業	危険空き家等実態把握調査	大館市						5		-

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
											小計						643			
住環境整備事業	A16-008	住宅	一般	大館市	直接	大館市	-	-	狭あい道路整備等推進事業	羽立2号線、沼館北線	大館市						19		-	
													小計						19	
											合計							662		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
地域住宅計画に基づく事業	C15-001	住宅	一般	大館市	直接	大館市	-	-	建築物解体設計書等作成 事業	空き建築物解体工事実施設計 業務	大館市						3	-	
		空き建築物除却事業の実施に向けて既存施設の構造等を調査し、適切な設計を行うことで工事の早期発注と作業時の安全確保を促す。																	
											小計						3		
											合計						3		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
各事業主体の評価を大館市建設部都市計画課で取りまとめた。	令和4年度
	公表の方法
	大館市ホームページで公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	長寿命化計画のストック活用計画の推進により、公営住宅の居住性の向上を図ることができた。 危険な建築物の除去により、大町中心市街地の安全と地区の活性化が図られた。 狭あい道路の拡張整備により、良好な市街地が増加した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
大館市公営住宅等長寿命化計画を基に、継続して市営住宅等の改修・建替えに取り組む。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	老朽化市営住宅割合		
	最終目標値	6%	公営住宅建替え計画の縮小に伴い、実績個所数が伸びなかった。
	最終実績値	7%	
2	市営住宅バリアフリー率		
	最終目標値	30%	公営住宅建替え計画の縮小に伴い、実績個所数が伸びなかった。
	最終実績値	26%	
3	広場利用者数		
	最終目標値	1000人/年	目標としたH30年度は周知不足で達しなかったが、翌H31年度は810人/年と増加した。R2年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、各種イベントが行われなかった。
	最終実績値	591人/年	
4	救急車両直接到達可能世帯数		
	最終目標値	95世帯	拡幅予定道路の住民から土地同意が得られなかった。
	最終実績値	81世帯	